

『 賢い旅行消費？ ・ ・ 旅行業界の現状と ・ ・ 』

コメンテーター k n t 首都圏営業本部 地域振興部長 飯田重行 氏

関越道のバス事故から ・ ・

貸切ハスの一人乗務は、法律上 670 キロだが、1 人乗務を 500 ~ 550 キロ程度に厳しく自主規制している会社も多い（労使で決めている）。

オンシーズンの無理なやり繰りオフシーズンの価格低下 ・ ・

乗務員のアサインと健康管理等々 ・ を考えると普通のバス会社では、1 日 60,000 円以下では予約を引き受けられない。

乗車効率 30 名としたら ・ ・ ・ 30 名 × @3,500 = 105,000 円

20 名 同上 ・ ・ ・ 20 名 × @3,500 = 70,000 円

格安バスツアーはスキーバスか発祥と言われているか ・ ・ ・

最大手ウィラードラペルやハーヴェストホールディングスは旅行会社なのか？
ツアーバスも二極化（エコノミーとデラックス化 1 列 3 席 ・ 簡易個室化）

【ツアーバスと路線バスとの違い】

	《ツアーバス》	《路線バス》
・ 法律	旅行業法道路運送法（バス会社）	道路運送法
・ 運賃	届出不要	上限運賃の認可申請
・ 運行	ツアー設定（中止できる）	定期運行（乗合）
・ 乗降	道路や駐車場	バス停設置義務

あるお客様から、夏場の蓼科の問い合わせ

蓼科グラントホテル滝之湯（@8,000 ~ ） 日本一のハイキング料理 ・ お得プラン
このプランに合わせて、東京から、運行されているバス会社を聞いたらハーヴェスト ・ ・ でした。

会社更生法を申請 http://www.tsr-net.co.jp/news/flash/1207877_1588.html

会社更生法のスポンサー決定 <http://n-seikei.jp/2011/04/post-5842.html>

日帰りバス 激安 ・ おまけどっさりから特定目的型へ

@ 1 時間 1,000 円か集客価格帯と言われるが

距離的な限界 ・ ・ 花見のピークのスレ ・ ・ 安いツアーに流れる

天気予報を見ながら直近化の加速

派遣 T C の時間管理による単価アップ

【旅行業界の現状・旅行者の動き】

1. 『温泉街の活性化』

加賀温泉郷 片山津温泉は格安旅館で街か賑わう

・レディス・カガのおもてなし

金曜日のリゾート 週末の上手な使い方

・箱根 小田原駅～遅いバス運行 2～3月の稼働率20%アップ

・定山溪16軒の共同宿泊企画 札幌～遅いバス

2. 【個人旅行の方向性】

賢い消費のための“顧客接点の強化”

旅行販売に徹するために、Webと店舗の活用方法

・来店カウンセリング、会員制の情報等々を検討

・LCCの動向の見極め

3. 【団体旅行の方向性】

教育旅行の販売強化

一般団体

MICE M = Meeting I = Incentive C = Convention E = Event

4. ニューツーリズムの推進

地域誘客・着型観光

5. 【インバウンド】 2011の現状

1位	フランス	7,680万人	2位	アメリカ	5,975万人
----	------	---------	----	------	---------

3位	中国	5,567万人	28位	韓国	880万人
----	----	---------	-----	----	-------

30位	日本	861万人			
-----	----	-------	--	--	--

インバウンドの推進 目標 2020年 1,600万人

在外公館からの誘致

自治体の散発的なイベント

6. 旅行業周辺の新たな事業創造

脱幹旋業の事業を創造して、生き残りを図る